# 令和5年度

篠栗町水道事業会計決算書

# 令和5年度 水道事業会計決算報告書

### (1) 収益的収入及び支出 収 入

<u> </u>	<u> </u>							
			予 算	額				
	区 分	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
		円	円	円	田	円	円	
第1記	欢 水道事業収益	640, 553, 000	0	0	640, 553, 000	635, 218, 959	△ 5, 334, 041	
第1	項 営業収益	611, 652, 000	0	0	611, 652, 000	606, 509, 967	△ 5, 142, 033	(うち、仮受消費税及び地方消費税
第2	項 営業外収益	28, 900, 000	0	0	28, 900, 000	28, 706, 352	△ 193, 648	55,070,129 円) (うち、仮受消費税及び地方消費税
第3	項 特別利益	1,000	0	0	1,000	2, 640	1, 640	597,866 円)
								751 円)

<u> </u>	出									_				
				予	Î	<b>第</b>	額							
	区 分	当初予算額	補正予算額	予 備 費 対 知	流用増減額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定による 支 出 額	. 31	地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰 越 額	۸ عا	N.L. Arte store	地方公営企業 注第26条第2 項の規定に る 繰 越 額	m	備	考
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
第1款	水道事業費用	550, 806, 000	1, 599, 000	0	0	0	552, 405, 000	0	552, 405, 000	524, 959, 807	0	27, 445, 193		
第1項	営業費用	530, 429, 000	658, 000	0	0	0	531, 087, 000	0	531, 087, 000	510, 036, 249	0	21, 050, 751	(うち、仮払消費税及び地方消費税	00 C70 200 HI
第2項	営業外費用	18, 877, 000	941, 000	0	0	0	19, 818, 000	0	19, 818, 000	14, 715, 231	0	5, 102, 769		29,672,302 円)
第3項	特別損失	500, 000	0	0	0	0	500, 000	0	500, 000	208, 327	0	291, 673	(うち、仮払消費税及び地方消費税	10.045 HI)
第4項	予備費	1, 000, 000	0	0	0	0	1,000,000	0	1, 000, 000	0	0	1, 000, 000		18,947 円)

#### (2) 資本的収入及び支出

224, 600, 000

第1項 企業債

収 入 予 額 地方公営企業法第26 条の規定による繰越 継 続 費 逓 次 繰越額に係る 予算額に比べ 区 分 決 算 額 考 決算額の増減 当初予算額 補正予算額 小 計 合 計 額に係る財源充当額 財源充当額 第1款 資本的収入 224, 600, 000 224, 600, 000 224, 600, 000 201, 700, 000 △ 22,900,000

224, 600, 000

201, 700, 000

△ 22,900,000

Ī	支 出			予		算		額			翌.	年 度 繰 越	額		
	区	分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続費 逓 次 繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続費 逓 次 繰越額	合 計	不用額	備考
•	第1款 資本的支	:出	円 383, 456, 000	円 0	円 0	円 383, 456, 000	円 0	円 0	円 383, 456, 000	円 359, 696, 388	円 0	円 0	円 0	円 23, 759, 612	
	第1項 建設改良	<b></b> 良費	254, 474, 000	0	0	254, 474, 000	0	0	254, 474, 000	232, 344, 750	0	0	0	22, 129, 250	(うち、仮払消費税及び地方消費税 21,122,250円)
	第3項 企業債債	賞還金	128, 982, 000	0	0	128, 982, 000	0	0	128, 982, 000	127, 351, 638	0	0	0	1, 630, 362	

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額157,996,388円は、当年度消費税資本的収支調整額21,122,250円、過年度損益勘定留保資金8,959,000円、 当年度損益勘定留保資金109,388,691円、建設改良積立金18,526,447円で補填した。

224, 600, 000

令和5年度行	<b>薬栗町水道事業</b> 技	員益計算書	
(令和5年4)	月1日から令和6年3月31	1日まで)	(\(\frac{14}{4}\) \(\frac{14}{4}\)
1. 営業収益			(単位:円)
(1) 給水収益	518, 087, 475		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他営業収益	33, 352, 363	551, 439, 838	
2. 営業費用	0.00 507 007		
<ul><li>(1) 原水及び浄水費</li><li>(2) 配水及び給水費</li></ul>	269, 537, 297		
(3) 受託工事費	29, 207, 800 0		
(4) 総係費	50, 135, 505		
(5) 減価償却費	123, 419, 882		
(6) 資産減耗費	8, 063, 463		
(7) その他営業費用		480, 363, 947	
営業利益			71, 075, 891
3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	8, 490		
(2) 営業外雑収益	5, 992, 762		
(3) 賃貸料	13,680		
(4) 他会計補助金	0		
(5) 長期前受金戻入益	22, 094, 654		
(6) 引当金戻入益	0	00 100 500	
(7) その他営業外収益 4. 営業外費用	0	28, 109, 586	
(1) 支払利息	9, 817, 131		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) その他営業外費用	43, 364	9, 860, 495	18, 249, 091
経常利益			89, 324, 982
5. 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	2, 400		
(3) その他特別利益	0	2, 400	
6. 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 貸倒損失	0		
(3) 過年度損益修正損	189, 380		
(4) その他特別損失	0	189, 380	△ 186, 980
当年度純利益			89, 138, 002
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			18, 526, 447
当年度未処分利益剰余金			107, 664, 449

#### 令和5年度篠栗町水道事業貸借対照表 (令和6年3月31日現在) (単位:円) 資産の部 1 固定資産 (1) 有形固定資産 イ 土地 362, 100, 474 口 建物 248, 314, 377 減価償却累計額 △ 104, 982, 284 143, 332, 093 ハ 構築物 4, 543, 047, 930 減価償却累計額 △ 2, 144, 991, 899 2, 398, 056, 031 ニ 機械及び装置 1, 270, 848, 098 △ 7<u>94, 118, 812</u> 減価償却累計額 476, 729, 286 ホ 車両及び運搬具 5, 266, 075 減価償却累計額 △ 4, 504, 640 761, 435 へ 工具器具及び備品 7, 515, 790 減価償却累計額 △ 3,037,426 4, 478, 364 ト 建設仮勘定 66, 512, 303 有形固定資産合計 3, 451, 969, 986 (2)無形固定資産 イ 電話加入権 97, 380 無形固定資産合計 97, 380 固定資産合計 3, 452, 067, 366 2 流動資産 (1) 現金預金 720, 035, 802 (2) 未収金 イ 未収水道料金 53, 884, 875 ロ その他未収金 3, 139, 931 貸倒引当金 △ 3,605,883 53, 418, 923 6, 083, 199 (3) 貯蔵品 (4) その他流動資産 流動資産合計 779, 537, 924 3 繰延勘定 (1) 開発費 0 開発費償却累計額 0 繰延勘定合計 0 資産合計 4, 231, 605, 290

	負債の部		(単位:円)
4 固定負債	兵順の切り		
(1) 企業債	Q	94, 851, 099	
(2) 他会計借入金	9	0	
(3) 引当金		0	
(4) その他固定負債		0	
固定負債合計			994, 851, 099
5 流動負債			001,001,000
(1)企業債	1	21, 595, 637	
(2) 他会計借入金		0	
(3) 引当金		3, 638, 396	
(4) 未払金		35, 344, 783	
(5) その他流動負債		1,551	
流動負債合計			160, 580, 367
6 繰延収益			
(1)長期前受金			
イ 国庫補助金		6, 677, 741	
ロー工事負担金		200,000	
ハー受贈財産評価額	5	556, 397, 710	
ニ その他長期前受金	3	344, 867, 016	
長期前受金収益化累計額	<u> </u>	47, 755, 626	
繰延収益合計			660, 386, 841
負債合計			1, 815, 818, 307
	Virgi also con the P		
w	資本の部		
7 資本金			
(1) 自己資本金	1, 6	661, 864, 373	
資本金合計			1, 661, 864, 373
8 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	0		
口工事負担金	0		
ハ 受贈財産評価額	717, 012		
ニ その他資本剰余金	209, 156		
資本剰余金合計		926, 168	
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金	200, 000, 000		
ロ建設改良積立金	445, 331, 993		
ハ 当年未処分利益剰余金	107, 664, 449	VEO 000 440	
利益剰余金合計	7	52, 996, 442	750 000 015
剰余金合計 次十 <u>公</u> 計			753, 922, 610
資本合計 負債資本合計			2, 415, 786, 983
只俱具个口司		<del>-</del>	4, 231, 605, 290

## 令和5年度篠栗町水道事業キャッシュフロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

### 水道事業会計 間接法

I	業務活動によるキャッシュフロー	
	当年度純利益 (△は純損失)	89, 138, 002
	減価償却費	123, 419, 882
	繰延勘定償却	0
	固定資産除却費	8, 063, 463
	固定資産売却損	0
	賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 8,522
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 118, 542
	長期前受金の戻入額	△ 22, 094, 654
	受取利息及び配当金	△ 8, 490
	支払利息及び企業債取扱費	9, 817, 131
	未収金の増減額 (△は増加)	$\triangle 2,845,708$
	たな卸資産の増減額 (△は増加)	0
	未払金・未払費用の増減額(△は減少)	4, 593, 519
	前払金・前払費用の増減額(△は増加)	0
	前受金の増減額 (△は減少)	0
	その他流動負債の増減 (△は減少)	△ 15,983
	その他流動資産の増減 (△は増加)	0
	小計	209, 940, 098
	受取利息及び配当金	8, 490
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 9,817,131
	業務活動によるキャッシュフロー①	200, 131, 457
П	投資活動によるキャッシュフロー	
	固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 211, 222, 500
	他会計負担金による収入	0
	投資活動によるキャッシュフロー②	△ 211, 222, 500
Ш	財務活動によるキャッシュフロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	201, 700, 000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 127, 351, 638
	財務活動によるキャッシュフロー③	74, 348, 362
IV	現金預金の増加額④=①+②+③	63, 257, 319
V	現金預金の期首残高	656, 778, 483
VI	現金預金の期末残高	720, 035, 802

### 令和5年度篠栗町水道事業剰余金計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

							(中匹・11)
	資	本 金			剰 余 金		
	<u> </u>	L. 7K			資本剰余金		
	自 己資本金	借	国 庫 補 助 金	工 事 負 担 金	受贈財産評 価 額	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合 計
前年度末残高	1, 661, 864, 373	0	0	0	717, 012	209, 156	926, 168
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	0	0
法令による処分額	0	0	0	0	0	0	0
処分後残高	1, 661, 864, 373	0	0	0	717, 012	209, 156	926, 168
当年度変動額	0	0	0	0	0	0	0
減債積立金の使用	0	0	0	0	0	0	0
建設改良積立金の使用	0	0	0	0	0	0	0
利益積立金の使用	0	0	0	0	0	0	0
受贈資産の増加	0	0	0	0	0	0	0
その他の組入	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0
当年度末残高	1, 661, 864, 373	0	0	0	717, 012	209, 156	926, 168

		剰余	金		
		利益剰金	余金		資本合計
	減 債 積 立 金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金 計	
前年度末残高	200, 000, 000	407, 413, 440	56, 445, 000	663, 858, 440	2, 326, 648, 981
前年度処分額	0	56, 445, 000	△ 56, 445, 000	0	0
議会の議決による処分額	0	56, 445, 000	△ 56, 445, 000	0	0
法令による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	200, 000, 000	463, 858, 440	(繰越利益剰余金) 0	663, 858, 440	2, 326, 648, 981
当年度変動額	0	△ 18, 526, 447	107, 664, 449	89, 138, 002	89, 138, 002
減債積立金の使用	0	0	0	0	0
建設改良積立金の使用	0	△ 18, 526, 447	18, 526, 447	0	0
利益積立金の使用	0	0	0	0	0
受贈資産の増加	0	0	0	0	0
その他の組入	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	89, 138, 002	89, 138, 002	89, 138, 002
当年度末残高	200, 000, 000	445, 331, 993	(当年度未処分利益剰余金) 107,664,449	0 752, 996, 442	2, 415, 786, 983

# 令和5年度篠栗町水道事業剰余金処分計算書(案)

		資本金	剰会	( <u>中</u> 位:11)
		自己資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高		1, 661, 864, 373	926, 168	107, 664, 449
議	会の議決による処分額	18, 526, 447	0	△ 107, 664, 449
	減債積立金の積立	0	0	0
	建設改良積立金の積立	0	0	△ 89, 138, 002
	利益積立金の積立	0	0	0
	自己資本金への組入	18, 526, 447	0	△ 18, 526, 447
				(繰越利益剰余金)
処	分後残高	1, 680, 390, 820	926, 168	0

### 令和5年度篠栗町水道事業報告書

#### 1. 概 況

### (1) 統括事項

#### (給水状況)

年間総配水量は 2,937,685㎡で前年度から 32,856㎡ (1.13%) 増加し、年間有収水量は 2,720,296㎡で、前年度から46,167㎡ (1.72%) 増加した。その結果、有収率は92.60%となり、前年度と比較して0.54ポイント上昇した。なお、1日最大配水量は、令和5年8月29日の 9,233㎡となった。

年間総配水量のうち1,604,460㎡は福岡地区水道企業団から受水し、180,846,862円(消費税及び地方消費税抜額)の受水費を支払った。

区 分		令和5年度	令和4年度	増減(△)
給 水 人 口		31, 191 人	30,051 人	1,140 人
配	総量	2, 937, 685 m <sup>3</sup>	2, 904, 829 m <sup>3</sup>	32, 856 m³
水	一日最大	9, 233 m <sup>3</sup>	9,713 m <sup>3</sup>	△ 480 m³
量	一日平均	8,026 m <sup>3</sup>	7, 958 m³	68 m³
有	収 水 量	2, 720, 296 m <sup>3</sup>	2, 674, 129 m³	46, 167 m <sup>3</sup>
有	収 率	92.60 %	92.06 %	0. 54

#### (財政状況)

収益的収支について、総収益では、579,551千円(消費税及び地方消費税抜額)となり、前年度から21,190千円(3.7%)の増収となった。また、総費用では、490,413千円(消費税及び地方消費税抜額)となり、前年度から11,503千円(2.3%)減少した。この結果89,138千円の純利益を計上した。

なお、供給単価は 190.5円、給水原価は 172.1円となった。

資本的収支については、企業債201,700千円を財源として、建設改良費、企業債償還金等に359,696千円(消費税及び地方消費税抜額21,122千円)を支出し、157,996千円の不足額が生じた。なお、不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度及び当年度損益勘定留保資金、建設改良積立金で補てんした。

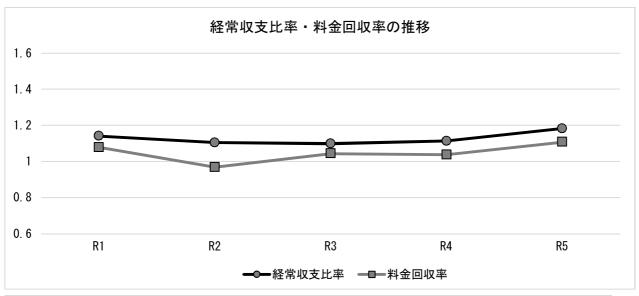
消費税は、積上げ課税制度により、4,898,100円の納付となった。

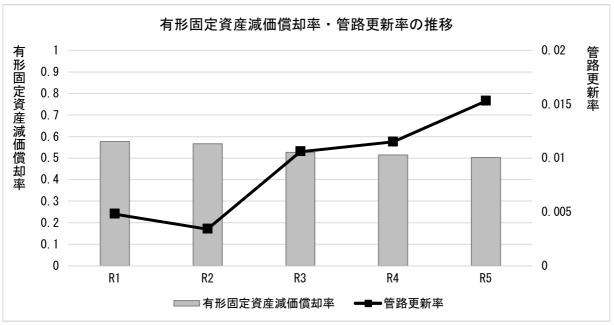
### (2) 経営指標に関する事項

令和5年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、水道料金収入の増加や、電気や燃料に対する国の補助による費用の減少等により、経常収支比率が前年度比6.91ポイント増の118.22%となり、健全経営の水準とされる100%以上を維持している。また料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比7.02ポイント増の110.69%となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っている。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比1.24ポイント減の50.23%、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.38ポイント増の1.53%に留まっている。これは、未だ更新需要のピークを迎えていないこと、大口径の基幹管路の更新を優先的に実施しているためであり、将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行っていく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率	114. 09%	110. 39%	109. 82%	111.31%	118. 22%
料金回収率	107. 80%	96. 75%	104. 30%	103.67%	110. 69%
有形固定資産減価償却率	57. 70%	56. 61%	52. 72%	51. 47%	50. 23%
管路更新率	0. 48%	0. 34%	1.06%	1. 15%	1. 53%





### (3) 水道事業関係議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
第28号	令和5年度篠栗町水道事業会計予算について	令和5年3月1日	令和5年3月13日
第52号	令和5年度篠栗町水道事業会計補正予算(第1号)について	令和5年6月5日	令和5年6月13日
第72号	令和4年度篠栗町水道事業会計剰余金の処分及 び決算の認定について	令和5年9月4日	令和5年9月14日
第81号	令和5年度篠栗町水道事業会計補正予算(第2号)について	令和5年11月28日	令和5年11月28日

### (4) 職員に関する事項

職名別	R6.3.31 現在職員数	R5.3.31 現在職員数	増減
技 能 職 員	2	2	0
企業職員	4	4	0
計	6	6	0

### 2. 工 事

### (1) 建設改良工事の内容

工事名	工事内容	工事請負費	契 約 工 期	竣 工 年月日	請負業者名
金出地区9号線配水管更新工事(3工区)	管路更新	36, 906, 100	R5. 8. 24 ~ R6. 2. 29	R6. 3. 8	(有)協和設備 工業
和田四丁目地内排水管更新工事(1工区)	管路更新	42, 555, 700	R5. 7. 19 ~ R6. 1. 12	R6. 1. 26	(株)尾畑建設 糟屋支店
乙犬地区30号線外配水管 更新工事(1工区)	管路布設	29, 541, 600	R5. 9. 27 ~ R6. 2. 29	R6. 3. 14	(株) 尾畑建設 糟屋支店
乙犬平石講田線外配水管更 新工事(1工区)	管路更新	17, 759, 400	R5. 9. 27 ~ R6. 1. 31	R6. 2. 14	東工業(株)
第2浄水場1号配水ポンプ更 新工事	設備更新	15, 379, 100	R5. 5. 23 ~ R6. 1. 31	R6. 2. 13	理水化学(株) 福岡支店
1号取水井戸導水管及びポ ンプ更新工事	設備更新	16, 888, 300	R5. 9. 7 ~ R5. 12. 15	R5. 12. 21	(株)朝日水工 業
池の端地区外電気計装設備 改修工事	設備更新	32, 620, 500	R5. 6. 6 ~ R6. 2. 29	R6. 2. 22	隔測計装(株)
勝負谷中継ポンプ場No.1電 動弁緊急更新工事	設備更新	4, 400, 000	R5. 9. 20 ~ R6. 3. 15	R6. 3. 1	蔵田工業(株)
合 計		196, 050, 700			

### 3. 業 務

### (1)業務量

(1		<u>155                                   </u>	里	T舌		<b>公和</b> E 左 <del>座</del>	△和 / 左 座	対前年	度比較
	事項		令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)			
行	政区	域内	現在ノ	人口	(人)	31, 191	30, 966	225	0.7
年	度	末給	水人	. П	(人)	29, 927	30, 051	△ 124	△ 0.4
計	画	給力	k 人	П	(人)	30, 800	30, 800	0	0.0
普	:	及		率	(%)	95. 95	97. 05	△ 1.10	_
年	度	末糸	合 水	栓	(件)	9, 576	9, 460	116	1. 2
	年			間	(m³)	2, 937, 685	2, 904, 829	32, 856	1. 1
配水	_	月	平	均	(m³)	244, 807	242, 069	2, 737	1. 1
小量	_	目	平	均	(m³)	8, 026	7, 958	68	0.9
	_	日	最	大	(m³)	9, 233	9, 713	△ 480	△ 4.9
有	年			間	(m³)	2, 720, 296	2, 674, 129	46, 167	1. 7
収 水	_	月	平	均	(m³)	226, 691	222, 844	3, 847	1.7
量	_	日	平	均	(m³)	7, 433	7, 326	107	1.5
有	•	収		率	(%)	92. 60	92. 06	0. 54	_

= 190.5 円

= 172.1 円

(2) 事業収益に関する事項

	<u>d )                                   </u>	7	T			
区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	対 前 年 度 比 較			
	节和3千及(门)	7和4千皮(门)	増減額(円)	増減率(%)		
営 業 収 益	551, 439, 838	532, 870, 148	18, 569, 690	3. 5		
給 水 収 益	518, 087, 475	499, 443, 265	18, 644, 210	3. 7		
受託工事収益	0	0	0	0.0		
その他営業収益	33, 352, 363	33, 426, 883	△ 74, 520	△ 0.2		
営 業 外 収 益	28, 109, 586	25, 483, 783	2, 625, 803	10. 3		
特別利益	2, 400	7, 515	△ 5, 115	△ 68.1		
合 計	579, 551, 824	558, 361, 446	21, 190, 378	3.8		

(3) 事業費に関する事項

区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	対 前 年 度 比 較			
区 勿	节和3千度(白)	市和4年度(白)	増減額(円)	増減率(%)		
営業費用	480, 363, 947	489, 710, 721	△ 9, 346, 774	△ 1.9		
原水及び浄水費	269, 537, 297	275, 983, 215	△ 6, 445, 918	△ 2.3		
配水及び給水費	29, 207, 800	35, 668, 931	△ 6, 461, 131	△ 18.1		
受 託 工 事 費	0	0	0	0.0		
総 係 費	50, 135, 505	48, 240, 181	1, 895, 324	3. 9		
減価償却費	123, 419, 882	118, 996, 908	4, 422, 974	3. 7		
資 産 減 耗 費	8, 063, 463	10, 821, 486	$\triangle$ 2, 758, 023	△ 25.5		
営 業 外 費 用	9, 860, 495	11, 896, 415	△ 2,035,920	△ 17.1		
支 払 利 息	9, 817, 131	11, 881, 790	$\triangle$ 2, 064, 659	△ 17.4		
繰延勘定償却	0	0	0	0.0		
雑 支 出	43, 364	14, 625	28, 739	196. 5		
特別損失	189, 380	309, 310	△ 119,930	△ 38.8		
固定資産売却損失	0	0	0	0.0		
貸倒損失	0	0	0	0.0		
過年度損益修正損	189, 380	309, 310	△ 119,930	△ 38.8		
その他特別損失	0	0	0	0.0		
合 計	490, 413, 822	501, 916, 446	△ 11, 502, 624	△ 2.3		

# 令和5年度篠栗町水道事業会計収益費用明細書

(単位:円) (税抜)

款	項	目	節	金 額
1 水道事業収益	^			579, 551, 824
1	1 営業収益			551, 439, 838
		1 給水収益		518, 087, 475
		- 114.4.64	1 水道使用料	518, 087, 475
		2 受託工事収益		0
			1 修繕工事収益	0
			2 配水管敷設工事収益	0
		3 その他営業収益		33, 352, 363
			1 手数料	544, 700
			2 負担金	31, 900, 000
			3 材料売却収益	0
			4 雑収益	46, 663
			5 他会計負担金	861, 000
	2 営業外収益			28, 109, 586
		1 受取利息		8, 490
			1 預金利息	8, 490
			2 有価証券利息	0
		2 営業外雑収益		5, 992, 762
			1 不品売却収益	0
			2 その他雑収入	5, 992, 762
		3 賃貸料		13, 680
			1 賃貸料	13, 680
		4 補助金		0
			2 国庫補助金	0
		7 長期前受金戻入益	A RVII I de l'ar feetar de lla V et A en et V	22, 094, 654
			1 受贈財産評価額長期前受金戻入益	13, 483, 213
			2 他会計補助金長期前受金戻入益	22, 500
			3 国庫補助金長期前受金戻入益	123, 044
		0 311/4 7 7 7	7 その他長期前受金戻入益	8, 465, 897
		8 引当金戻入益	2 賞与引当金戻入益	0
			5 貸倒引当金戻入益	0
			6 その他引当金戻入益	0
	3 特別利犬		0 での他引き並灰八金	2, 400
	3 特別利益	1 固定資産売却益		2, 400
		1 固定資産允許皿	1 固定資産売却益	0
		2 過年度損益修正益	2 Pa/C 94/25/07 FT and	2, 400
			1 過年度損益修正益	2, 400
		3 その他特別利益		0
			1 その他特別利益	0
収入合計				579, 551, 824

	1	1		(単位:円) (税抜)
款	項	目	節	金 額
1 水道事業費用				490, 413, 82
	1 営業費用			480, 363, 94
		1 原水及び浄水費		269, 537, 29
			8 旅費	
			11 備消耗品費	
			12 燃料費	
			13 光熱水費	15, 87
			15 通信運搬費	457, 06
			17 委託料	52, 650, 00
			18 手数料	3, 032, 61
			20 修繕費	7, 676, 00
			23 動力費	15, 844, 53
			25 材料費	720, 34
			27 用地費及び補償費	7, 174, 00
			29 受水費	180, 846, 86
			30 工事請負費	1, 120, 00
			31 研修費	
		2 配水及び給水費		29, 207, 80
			1 給料	7, 104, 00
			2 手当	3, 220, 22
			4 賞与引当金繰入額	1, 194, 22
			7 法定福利費	2, 130, 18
			8 旅費	8, 00
			11 備消耗品費	36, 20
			12 燃料費	168, 68
			13 光熱水費	199, 81
			14 印刷製本費	34, 00
			15 通信運搬費	162, 42
			17 委託料	2, 580, 00
			19 賃借料	404, 41
			20 修繕費	7, 934, 30
			23 動力費	4, 031, 32
			25 材料費	
			31 研修費	
		4 総係費		50, 135, 50
			1 給料	15, 117, 12
			2 手当	9, 023, 26
			4 賞与引当金繰入額	2, 444, 17
			7 法定福利費	4, 317, 08
			8 旅費	102, 91
			11 備消耗品費	123, 32
			14 印刷製本費	797, 26
			15 通信運搬費	1, 434, 46
			17 委託料	13, 031, 18
			18 手数料	2, 547, 16
			19 賃借料	626, 50
			20 修繕費	104, 78
			31 研修費	17, 27
			34 会費負担金	130, 13
			35 保険料	304, 81
			36 公課費	6, 80
			38 貸倒引当金繰入額	7, 25
		5 減価償却費		123, 419, 88
			1 有形固定資産減価償却費	123, 419, 88
		6 資産減耗費		8, 063, 46
			1 固資産除却費	8, 063, 46
			2 棚卸資産減耗費	

1				単位:円	) (税抜)
款	項	目	節	金	額
		7 その他営業費用			(
			1 材料売却原価		(
	2 営業外費用		·	1	9, 860, 49
	- 日本/1貝/11	1 支払利自			
		1 支払利息	, A W. (# 17) (-)		9, 817, 131
		0 48 77 41 14 144 18	1 企業債利息		9, 817, 131
		3 繰延勘定償却	4 HH 2V (XY-1-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-		(
		r π#-+:111	1 開発償却費		40.00
		5 雑支出	1 7 0 14 14 + 111		43, 364
	3 特別損失		1 その他雑支出		43, 364
	3 特別損大	1 固定資産売却損			189, 380
		1 固足買性冗型損	1 固定資産売却損		(
		3 貸倒損失	1 固足負生化卻損		(
		3 貝関頂人	1 貸倒損失		(
		5 過年度損益修正損	1 貝別很入		189, 380
		□ 四十尺识皿形皿识	1 過年度損益修正損	1	189, 380
		6 その他特別損失		1	109, 300
		0 での個性が対象が	1 その他特別損失		
支出合計			- 5 2 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	4	90, 413, 822

### 令和5年度固定資産明細書

(1) 有形固定資産 (単位:円)

								(十四:11)
資産の種類	年 度 年 度 5 の種類 当 初	五 山 山 三年度 三年度	年度末	減価	f 償 却 累 i	計額	年度末償 却	
貝 圧 り 恒 規	現在高	増加額	減少額	現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	累計	未済額
土 地	362, 100, 474	0	0	362, 100, 474	0	0	0	362, 100, 474
建物	248, 314, 377	0	0	248, 314, 377	4, 356, 876	0	104, 982, 284	143, 332, 093
構築物	4, 457, 805, 795	183, 971, 697	98, 729, 562	4, 543, 047, 930	85, 587, 622	93, 718, 608	2, 144, 991, 899	2, 398, 056, 031
機械及び装置	1, 268, 196, 780	63, 701, 500	61, 050, 182	1, 270, 848, 098	31, 864, 387	57, 997, 673	794, 118, 812	476, 729, 286
車輌及び運搬具	5, 266, 075	0	0	5, 266, 075	1, 184, 867	0	4, 504, 640	761, 435
工具・器具及び備品	4, 465, 790	3, 050, 000	0	7, 515, 790	426, 130	0	3, 037, 426	4, 478, 364
建設仮勘定	0	253, 583, 000	187, 070, 697	66, 512, 303	0	0	0	66, 512, 303
合 計	6, 346, 149, 291	504, 306, 197	346, 850, 441	6, 503, 605, 047	123, 419, 882	151, 716, 281	3, 051, 635, 061	3, 451, 969, 986

(2)無形固定資産 (単位:円)

資産の種類	年 度 当 初 現 在 高	当年度 増加額	当年度減少額	当 年 度減価償却高	年度末現在高	備考
電話加入権	97, 380	0	0	0	97, 380	
計	97, 380	0	0	0	97, 380	

### 令和5年度企業債明細書

	**	発行年月日 償還未済分 発行総額	償	最高	L. Difference des	毛(水)	(単位:円)
種類	発行年月日		当年度償還額	償還額累計	未償還残額	利率(%)	償還終期
政 府 資 金	Н7. 3. 27	91, 500, 000	5, 747, 483	85, 482, 152	6, 017, 848	4. 6500	R7. 3. 1
IJ.	Н8. 3. 14	369, 000, 000	19, 671, 997	327, 762, 534	41, 237, 466	3. 1500	R8. 3. 1
"	Н9. 3. 25	330, 000, 000	16, 617, 351	277, 283, 476	52, 716, 524	2. 8000	R9. 3. 1
n n	H10. 3. 25	270, 000, 000	12, 620, 837	216, 795, 519	53, 204, 481	2. 1000	R10. 3. 1
n.	H11. 3. 25	81, 600, 000	3, 735, 441	61, 706, 125	19, 893, 875	2. 1000	R11. 3. 1
11	H13. 3. 26	27, 300, 000	1, 174, 800	18, 530, 661	8, 769, 339	1. 6000	R13. 3. 1
"	H14. 3. 25	21, 600, 000	931, 388	13, 367, 596	8, 232, 404	2. 2000	R14. 3. 1
小 計		1, 191, 000, 000	60, 499, 297	1, 000, 928, 063	190, 071, 937		
機構資金	Н8. 3. 22	246, 000, 000	14, 905, 084	246, 000, 000	0	3. 2500	R6. 3. 20
"	Н9. 3. 28	220, 000, 000	12, 526, 921	207, 107, 164	12, 892, 836	2. 9000	R7. 3. 20
II.	H10. 3. 25	180, 000, 000	9, 429, 770	160, 510, 059	19, 489, 941	2. 2000	R8. 3. 20
II.	H11. 3. 24	54, 400, 000	2, 768, 793	45, 737, 960	8, 662, 040	2. 1000	R9. 3. 20
"	Н13. 3. 22	27, 700, 000	1, 321, 277	20, 757, 907	6, 942, 093	1. 6500	R11. 3. 20
"	H14. 3. 22	21, 400, 000	1, 027, 148	14, 741, 973	6, 658, 027	2. 2000	R12. 3. 20
"	Н30. 3. 26	82, 300, 000	2, 743, 332	16, 460, 032	65, 839, 968	0. 0500	R30. 3. 20
"	Н31. 3. 25	75, 500, 000	2, 516, 666	12, 583, 350	62, 916, 650	0. 0100	R31. 3. 20
II.	R1. 7. 30	27, 500, 000	916, 666	4, 583, 350	22, 916, 650	0.0040	R31. 3. 20
II.	R2. 3. 26	76, 900, 000	2, 563, 332	10, 253, 368	66, 646, 632	0.0060	R32. 3. 20
II.	R3. 3. 25	170, 700, 000	5, 690, 000	17, 070, 000	153, 630, 000	0. 1000	R33. 3. 20
"	R4. 3. 24	143, 300, 000	4, 776, 666	9, 553, 352	133, 746, 648	0. 2000	R34. 3. 20
"	R5. 3. 23	170, 000, 000	5, 666, 686	5, 666, 686	164, 333, 314	0. 6000	R35. 3. 20
小 計		1, 495, 700, 000	66, 852, 341	771, 025, 201	724, 674, 799		
民間資金	R6. 3. 14	201, 700, 000	0	0	201, 700, 000	1. 7500	R36. 3. 25
小 計		201, 700, 000	0	0	201, 700, 000		
合 計		2, 888, 400, 000	127, 351, 638	1, 771, 953, 264	1, 116, 446, 736		

#### 注 記

- I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - 1. 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法 貯蔵品・・・先入先出法による原価法
  - 2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産

定額法

・主な耐用年数

建物 13年~50年 構造物 5年~60年 機械及び装置 8年~40年 車両及び運搬具 5年

工具器具及び備品 3年~15年

### 3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、「退職手当負担に関する協定書」に基づき、篠栗町水道事業 会計が毎期支出する福岡県市町村職員退職手当組合に対する一般負担金を除き、 一般会計がその全額を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上し ていない。

### (2) 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びこれに伴う法定福利費の支出に備えるた め、当事業年度末における支給見込み額に基づき、当事業年度の負担に属する額 を計上している。

### (3)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率によ り、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能 見込額を計上している。

- 4. その他会計に関する書類の作成のための基礎となる重要な事項
- (1)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### Ⅱ. 貸借対照表等に関する注記

### 1. 引当金の取崩し

### (1) 賞与引当金

当事業年度における職員の期末手当、勤勉手当の支給及びこれに伴う法定福利費の支出にあたり、賞与引当金2,906,763円を取り崩した。

### (2)貸倒引当金

当事業年度における債権の不納欠損による損失のため、貸倒引当金 294,273 円を取り崩した。